

【めづる】とは

「愛め・づる」(愛する、思い慕う、賞賛する、褒める、好む、好きになる、気に入る)の古語で、
「め・づる」は、「珍めづ・る」(珍めづら・しい)にも通づると考えています。

ここでは、『めづるくらし』研究会が厳選した情報をお届けします。

〈国立障害者リハビリテーションセンター 研究所・看護部・自立支援局〉 国リハ コレクション 2019 『どんなときも 自分らしく』

〈国立障害者リハビリテーションセンター (略称「国リハ」) は、厚生労働省の施設など機関として、障がいのある方の自立や社会参加を支援。医療から職業訓練まで一貫した体系の下で、生活機能全体の維持や回復のための先進的・総合的な医療から様々な福祉サービスの提供などを行っている。同時に、リハビリテーション技術や福祉機器の研究開発、専門職の人材育成など、先導的な役割も担っている。

その中で「支援技術・支援機器・支援システムの研究開発」を担当する〈研究所〉と〈看護部・自立支援局〉が連携して、毎年『国リハ コレクション』を開催している。

「障がいのある方のニーズや課題、障がいへの配慮の仕方や工夫などをモノ作り側へ。ユーザー側へは、すでにあるモノや試作段階のモノ、関連する情報を知っていたら、ファッションショーもその手段の一つで、さらなるモノ作り側とユーザー側の情報発信と交流の場」として研究所・小野所長らが取り組んでいるイベントである。

快適でおしゃれな衣服を楽しむ、着たい服がどこでも手に入るような環境促進を目指すの「ファッションショー」は、様々な障がいを持つ方の着たいと思えるおしゃれな服から、着脱しやすい、姿勢や体形に



毎年20以上の各種機関が出展する本館ロビーでの展示会風景。(左)〈NPO 高齢者・障がい者の旅をサポートする会／NPO 東京ユニバーサルツーリズムセンター〉。(中)〈土屋産業(株)〉のステッキを紹介する〈『めづるくらし』研究会〉スタッフ。(右)国立障害者リハビリテーションセンター・本館講堂。



国立障害者リハビリテーションセンター 研究所
<http://www.rehab.go.jp/ri/>
(過去の「国リハコレクション 2018」まで)
<http://www.rehab.go.jp/ri/event/fashion/top.html>



合う、動きを妨げない、排泄支援や入浴支援につながるなどポイントを置いたユニバーサルファッションが楽しめる。各種機関(障がい当事者団体、NPO、公的機関、病院、学校、企業など)による展示では、研究・開発された商品紹介や説明などから、関連情報の提供や様々な相談も受け付けている。また〈国リハ・看護部〉による衣類の改良した工夫の説明なども行われる。

この『国リハ コレクション』は『リハ並木祭』のイベントの一つで、他には実施している様々な訓練やクラブ活動の発表、模擬店などと、誰もが自由に参加できる文化祭として、毎年多くの人が訪れ賑わう一日である。

「おしゃれ」をキーワードに、障がいに配慮した衣服などの課題、工夫などを広く知ってほしいとして行われる〈国リハ・ファッションショー〉。

写真(上・下)は、2018年10月20日『おしゃれして出かけよう!』より。

(過去の『国リハ コレクション』テーマ)
2017年『わたし Style!』
2016年『プチリフォームして、おしゃれに!』
2015年『さあ でかけよう、おしゃれして』
2014年『いつでもおしゃれに!』
2013年『よりキレイに! よりステキに! ~おしゃれして出かけよう~』
2012年『気楽におしゃれ、始めませんか?』
2011年『あなたの気持ちを叶えたい』

▼リハ並木祭 & 国リハ コレクション 2019

2019年10月19日(土)(入場・参加:無料)

会場:国立障害者リハビリテーションセンター
〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

リハ並木祭:9:30~16:00(同時開催:研究所一般公開)

イベント内容(予定):
ファッションショー(12:45~13:30/本館講堂)
展示(9:30~15:50/本館ロビー)

お問い合わせ:ML-fashion@rehab.go.jp
TEL:04-2995-3100(代表)
FAX:04-2995-3132